

学校関係者評価報告書

愛媛県立八幡浜高等学校 全日制

学校番号 34

評価実施日	令和5年2月24日(金)		
氏名	所属等	備考	
幸田 裕司	(一社)愛媛県ネットワーク協会	メンタル・トレーナー	
今泉 知範	八幡浜市立八代中学校校長		
中井 貴一	(株)中井建設		
六條 公治	PTA会長		
福岡 勝也	PTA顧問		

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>今年度の最終評価について</p> <p>1 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートの結果において、予習・復習の項目が4分の1近くの生徒がマイナスの評価である。特に学力差が大きいと思われるので、それぞれの生徒のレベルにあった家庭学習の習慣が大切である。 多様化が求められる中、限られた時間、限られた人員での対応は大変であると思うが、生徒たちがこれからの時代を生き抜けるよう指導してほしい。 既存の仕事の50%が無くなり、それに替わる新しい仕事が生まれてくると言われている。そのような時代に対応する授業の研究・研修していることを大いに評価し、応援したい。 <p>2 生活指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートの結果において、奉仕活動・ボランティア活動の参加率が低いが、コロナ禍における活動制限があったので致し方ない結果である。今後状況が変化していく中で改めて取り組んでいただきたい。 自転車事故が少ない件数で落ちていることは評価できる。引き続き事故0を目指し、交通ルールやマナー向上の徹底に努めてほしい。 <p>3 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートの結果から、教員と生徒、保護者等と認識の相違があるのではないかと感じる。 学習面だけでなく、夢を描けるようなキャリア教育を構築してほしい。 1・2年次に進路に対する意識を高められるかが大切だが、3年間を見据えたサポートが素晴らしい。 国立大の合格も大事だが、有名私立大の合格も同様に重視すべきでないか。 県外に出る生徒にも郷土愛を抱けるよう啓蒙してほしい。 <p>4 健康・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の高校再編に向け設備に関しては見通しがつきにくいと思うが、子供たちに学校に通いたいと思ってもらえるような環境を作してほしい。 今後、安心安全きれいな環境づくりに期待する。 設備の改善については必要不可欠なものも要望し続けることが肝要である。 新型コロナウイルス感染症について、3年間マスク、消毒、換気などで対策したことで生徒の健康が守られた一方、抵抗力は衰えていくという面もある。 身を鍛えることを大事にしていきたいものである。 感染症対策は徹底されていたと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の習慣化や基礎的な学力の定着のためだけでなく、授業での発表や話し合いなどの活動に活用できるような課題を研究・工夫することにより、授業改善につなげていきたい。 急速に変化する教育環境(ICT・1人1台端末の活用等)に対応するために、限られた時間を有効に活用し、教職員間の情報共有や教科横断型授業の研究実践など計画的に進める。 生徒に対してボランティア活動等に関する周知徹底を図りながら、生徒が自主的かつ積極的に参加できるよう学校側の環境作りもより一層の充実・努めたい。 引き続き、登校時の学年別時差登校や登校指導を通じて事故の起こりにくい交通環境作りに取り組みたい。また、交差点での左右確認・一時停止・徐行や他者への思いやりと譲り合いの気持ちが交通事故未然防止になることを理解させ体現できるよう、今後とも呼び掛けていきたい。 アンケート結果のギャップは、学力差、進路意識の格差がこれまでに以上に開いている現状において、全体指導の進捗についていくことに苦しさを感じる生徒たちとその保護者からの声と捉える。授業や進路指導に対する意見・悩みを、まずは各ホームルーム担任による生徒や保護者との面談を通してくみ上げ、個別の対応に取り組む必要がある。 進路指導においては、学力の向上を客観的に判断しやすい国立大合格数に重きを置きがちである。世の中で活躍する人材育成という観点で、国立大合格数という従来の価値観についても検討の必要がある。 設備に対する御意見が多くみられる。校舎設備の老朽化については、修理改善に向けて事務課を通して要望をし続けることとしないと考えられる。廊下や、教室の壁も塗り替えるだけでも随分印象が変わると考えられる。 これまでは予防と感染防止に努めていたが、様々な機会を通して心身の健康も重視して取り組みたい。
<p>5 図書・情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が利用しない理由を把握し、利用しやすい環境にするための方策を具体化していくべき。課題の設定そのものも見直しが必要な時期がきている。 読書の意義・必要性・知識を得る事の楽しさ等、折に触れ根気強く働きかけたり、端末を使って本を読むシステムや電子媒体の導入をしたりするなど、本を読む新しい習慣が必要である。 HPはアクセスが減少しているが、十分活用されている。PTA月報等の情報発信もできていると思われる。 <p>6 人権・同和教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権問題はなかなか難しい問題だが、学校でこそぜひ指導をしてもらいたい。 人口の少ない地域では、問題を表面化させるのは難しいため、人権問題は積極的に取り上げてもらいたい。 現在は同和問題以外にも、LGBT、外国人、風評被害、コロナ感染者など様々な差別が顕著化しており、その中人権を守る話し合いが必要だと思う。 <p>7 業務改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 働きやすい環境の整備と働きがいの両輪が大切である。先生たちの働きがいにも注視してください。 業務の効率化を進めるしかないかと思う。 まず先生方が健康であることが教育の質向上の大前提である。 働き方改革は重要であり、今後も適切な取組が進むことを期待したい。 早朝から遅くまで、子どもたちのために本当に頭が下がる。心身の健康や、ご家庭のためにも、ご無理をなさらないでいただきたいと願っている。 努力なさっていると思う。組織全員の積極的な取組が必要だと思う。(個人任せにしない。) <p>8 学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習時間が不足している生徒、部活動との両立ができていない生徒が2割程度を多とみるか、妥当とみるか、再考の余地はあると思う。 部活動との両立は大変な努力が必要だと思う。8割が両立できているのは十分評価できる。 <p>・適性にあった進路指導ができていないことは評価される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって利用しやすい環境にするために、生徒のニーズを把握し、方策を具体化する。また、図書委員に積極的な利用促進の呼び掛けを行わせる等、生徒主体となる活動を支援する。 HPの魅力化の観点から来年度はブログの更新を当番制にし、頻度を上げていく予定である。その他、行事などのYouTube動画も工夫していきたい。 委員の協力、工夫により年3回「PTA会報」を発行でき、より充実したものになったと思われる。今後検討を加え更に充実させていきたい。また、「PTA月報」も好評で、継続させていきたい。 生徒の人権問題への意識を確認しながら、ホームルーム活動等を通して、指導を行ってほしい。 八幡浜市が実施している意識調査アンケート結果をもとに、地域の現状を把握しながら、生徒と共に問題解決について考えていきたい。 今後も様々な人権問題について、teamsなどを使って情報を提供したり、ホームルーム活動で取り上げたりするなどして、生徒が自主的に問題解決できるような指導を行ってほしい。 働きやすい環境のために、早出出勤や遅出出勤の制度を設けている。また、家庭の事情等にも対応できるようにテレワークの制度も活用することができる。制度が浸透するように声掛けをして、活用しやすい環境にしたい。 先生がたから相談しやすい環境づくりを、今後も推進していきたい。 月に2回「早く帰ろうDAY」を設定しており、部活動の休業日等を、この日に設定することで定刻退勤の日を推奨している。部活動の休業日があることを、各部の保護者にもきちんと連絡していきたい。 今後も文武両道を目指している生徒たちが、充実した学校生活を送ることができるよう、学年で調整し、サポートしていきたい。 今後も、全教職員で適切な進路指導を行い、進路実現に向け努力できる生徒の育成を目指したい。